

じょうようのふくし

城陽市社協
マスコット

社協だより



共同募金配分金で作成しています

発行 社会福祉法人 城陽市社会福祉協議会
城陽市寺田東ノ口17 福祉センター1階

TEL 0774(56)0909
FAX 0774(56)2800
<http://www.kyoshakyo.or.jp/joyo/>

平成27年 冬 発行
第114号

第25回城陽福祉ふれあいまつり

雨二モマケズ賑わいました

11月8日に文化パークで第25回城陽福祉ふれあいまつりが行われました。

今年はいにくの雨でしたが、約2500名もの方が来場され、大変にぎやかなものになりました。

屋内ステージは、「くぬぎ保育園」の元気いっぱいなソーラン節からはじまり、「めだか」や「てまり」の手話歌、「響」や「JKB48」の踊り、「みんななかま」や「コール J star way」の心のこもった歌など、様々なパフォーマンスが行われました。

また、屋内外の会場では、福祉関係団体やボランティア団体のバザーや食品販売、ヘルスチェック、施設の授産製品の販売、ヨーヨーつりやフラレールなど、幅広い年代の方が興味をひかれる催しが行われ、来場された市民の方は楽しみながら福祉活動に触れあえたのではないのでしょうか。

地域のつながりが重要視される中、今回のふれあいまつりは参加者全体が交流を深め、福祉活動の大切さを再考する場となりました。



くぬぎ保育園の元気いっぱいな踊り



みんななかまの心温まる歌



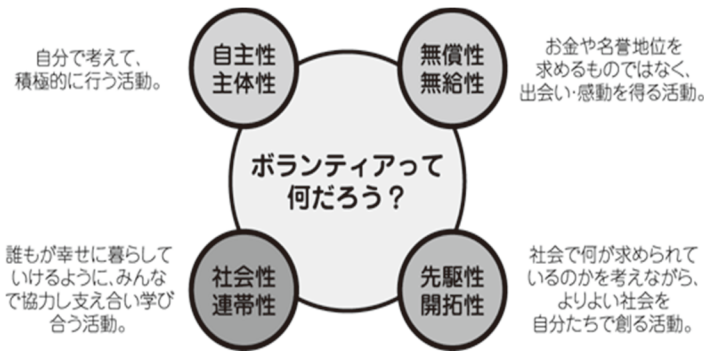
屋外にもたくさんの方の来場者

ボラフェス でボランティア体験してみませんか



現在、城陽市社協に登録されているボランティアは12団体あり、平成24年度から1年に1度ボランティアフェスティバルを開催しています。市民のみなさまに、市内で活動している福祉ボランティアグループの活動を知っていただき、身近に感じてもらえるよう、ボランティアグループの活動体験ブースやパネル展示、キッズコーナーなど、楽しいイベントを企画していますので、ぜひお越しください。

参加ボランティア団体	
車いす介助	車いす介助グループ「杉の子会」
点字	城陽点字サークル「たんぼぼ」
要約筆記	城陽要約筆記サークル「ダンボ」
手話	城陽手話サークル「てまり」
手話	城陽手話サークル「めだか」
介護支援	介護支援サークル「やわらぎ」
傾聴	傾聴ボランティア「コスモス」
朗読	朗読ボランティア「陽声」
困りごとのお手伝い	メンズボランティア「手助け隊」
読み聞かせ等	城陽おはなしサークル
ボランティア間の連携等	城陽ボランティア連絡協議会



日 時：平成28年2月28日(日)
13:00~16:00

場 所：城陽市立福祉センター

内 容：★舞台発表
★福祉体験コーナー
★子どもコーナー
絵本の読み聞かせ・バルーンアートなど
★各サークル紹介コーナー
★福祉機器の展示

参加費：無料
申 込：不要
問合せ：城陽市社会福祉協議会 (TEL: 56-0909)



←城陽おはなしサークルの読み聞かせ



介護支援サークル「やわらぎ」の認知症予防教室→



10月1日から行われている赤い羽根共同募金にご協力いただき、ありがとうございます。小雨が降り、寒空の下行われた街頭募金でしたが、みなさまのあたたかい善意が寄せられました。

また、個別募金も自治会役員の方々のご協力により、全市的に取り組んでいただいています。

みなさまから寄せられている寄付金は、地域福祉活動やボランティア活動などに活用させていただきます。

赤い羽根共同募金にご協力いただき
ありがとうございます

- 街頭募金にご協力いただいた店舗等 (順不同・敬称略)
- 近鉄久津川駅
 - 近鉄寺田駅
 - 近鉄富野荘駅
 - スーパー山田屋富野荘店
 - スーパー山田屋青谷店
 - JR 青谷駅
 - JR 城陽駅
 - イズミヤ株式会社大久保店
 - 京都生活協同組合コープ城陽
 - 株式会社ライフコーポレーション寺田店
 - 株式会社平和堂アルプラザ城陽
- ご協力ありがとうございました。



第64回京都市社会福祉大会

受賞者の報告(順不同・敬称略)

9月17日京都テルサにて府内の福祉関係者が一堂に集い、京都府社会福祉大会が開催されました。福祉の発展に功績のあった方や団体が表彰されました。また、より一層協力をして、地域福祉活動を進めていくためのシンポジウムも行われました。

城陽市管内の受賞者をご紹介します。

社会福祉事業・ボランティア

功労者知事表彰

表彰

・民生委員・児童委員

福山園子

中澤美紗子

・社会福祉事業従事者

山下浩二(城陽市社会福祉協議会)

白樫忠(青谷学園)

白樫孝(障害者支援施設DO)

松本功美子(軽費老人ホームヴィラ城陽)

久保ひとみ(特別養護老人ホーム梅林園)

京都市社会福祉協議会会長表彰

・社会福祉事業特別功労者

山岡誠(城陽市社会福祉協議会)

野間美穂(青谷学園相談支援事業所)

森村章仁(障害者支援施設青谷学園)

・社会福祉協議会活動功労者

近藤満雄

堀江勉

高須達雄

栗村サカ江

田中洋三

岡田忠男

野田章子

京都府共同募金会会長表彰・感謝

表彰

・奉仕功労者

堀江勉

若山憲子

感謝

・個人寄付

松本英四郎

・法人・団体寄付

一般社団法人宇治久世医師会

宇治久世歯科医師会



歳末にたいして使われたい募金

12月1日から「つながり ささえあう みんなの地域づくり」をスローガンに、歳末たすけあい運動が始まりました。今年もみなさまのあたたかいご支援・ご協力をお願い申し上げます。市社協では、共同募金等の窓口を設置し、募金の呼びかけを行っています。そして、その浄財を配分計画に基づき様々な形で配分しています。しかし「募金はしているけど、何に使われているのかわからない」という方もいらっしゃると思います。そこで、今年度の募金配分計画により、みなさまの善意がどのように活用されるかを紹介します。(年度ごとに配分される事業は異なります)

平成27年度歳末たすけあい募金配分計画(単位：千円)

総額：6,414千円



青少年福祉活動修学旅行費援助

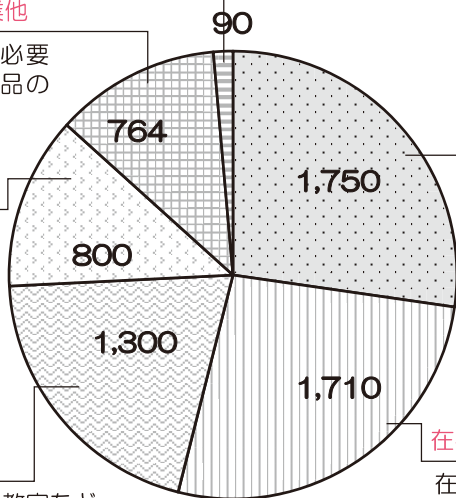
低所得世帯の中学生が、修学旅行に行くための経費を一部援助

校区社協年末年始事業助成

校区社協で行われる福祉餅つき大会や左義長、幼児等のクリスマス会や防災訓練など、地域住民が交流できる事業に助成金として配分されます。

在宅要介護者の介護者激励金

在宅での介護は苦勞が多いものです。そこで、要介護3・4・5の方を在宅で介護している方へ、激励金として贈られます。(広報じょうよう等で案内)



地域福祉活動備品整備事業他

地域福祉活動を行う上で必要な車いす等の貸し出し備品の整備等

自治会福祉活動応援助成

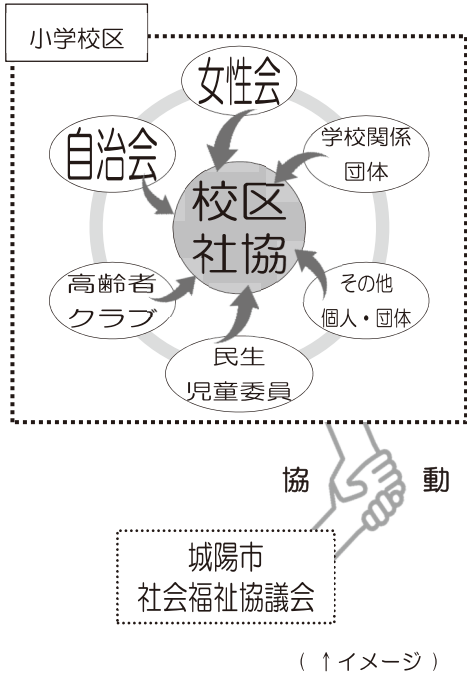
年末夜回りや異世代交流会など、自治会が主体となり行うふれあい事業や交流事業へ助成金として配分されます。

福祉団体等事業費助成

クリスマス交流会や木工教室など、障がい者団体等の福祉団体が行う地域福祉事業、また、サロンなど市内のあらゆる団体を対象に公募した地域福祉事業に助成金として配分されます。

平成26年度配分実績は6,312,931円でした。

校区社会福祉協議会が 設立20周年を迎えました



校区社協と市社協の関係は??

城陽市の校区社協は小学校区を一つの単位として、10の校区社協があります。

校区社協は、校区内の福祉課題やニーズに対して主体的・自発的に取り組んでいます。

市社協はそれらの校区社協の諸活動に必要な財政支援、情報提供や校区社協相互間及び市社協との連絡調整などの支援を行っています。

また、一つの校区で解決できない課題や市内全域に共通する課題等に関しては市社協と校区社協が協力して問題の解決に向け連携・協働しています。

平成27年をもちまして、校区社会福祉協議会は設立から20周年を迎えました。そこで校区社協についてもっと知っていただくために、今回の冬号と次回春号の2回に分けて校区社協について紹介していきます。今回は、市社協と関連付けて紹介していきます。

校区社協と市社協の違いはなに??

校区社協

法的な位置づけはなく、住民の任意組織

小学校区を対象

地域の課題等を住民の助けあいによって解決できるような取組(ふれあいサロン、料理教室等)

地域に密着した個人・団体(自治会・高齢者クラブ・民生児童委員など)

助成金、補助金、会費、赤い羽根共同募金や歳末たすけあい募金等の募金

市社協

社会福祉法に位置付けられている

市全体などの幅広い地域を対象

市内の全域的な課題等に対応する取組(助けあいや配食サービスなどの事業他、ボランティア振興、福祉教育等)

社会福祉関係の事業者・活動者等

会費、事業収入、補助金、受託金等

性格

対象地域

取組

構成員

主な財源

どうして校区社協が必要なの??

- 校区社協は自治会をはじめ、高齢者クラブや民生児童委員等の地域にある住民組織で構成されています。地域の課題に対応するには、各々の住民組織よりも協働で活動する方が対応しやすくなります。そこで、主として地域の福祉課題に対してそれらの住民組織が集まり、話しあい、活動できる場となるのが校区社協です。
- 校区社協では小学校区を対象としているため、地域住民の声が聴こえやすく、その声から生活課題等を発見し、地域の実情に応じた細かい対応ができます。
- 住民の任意組織である校区社協では、住民の自治力を活かし、福祉活動の開発・企画・実施ができます。



さわやか宅配便のご案内 ～届け始めて20年～

紙おむつ宅配事業「さわやか宅配便」をはじめて早や20年が経ちました。20年前には10.8%だった高齢化率も、現在では30%にまで上り、相対的に被介護者の人数も増加しています。介護において重要な役割を果たす紙おむつ。「買いに行くのが大変」「なかなか安く買えない」等々、ご家族の介護にかかる負担を少しでも軽減できればいいなという思いからはじまった「さわやか宅配便」。ぜひ活用してみませんか。



▼利用できる方

城陽市内にお住まいで、日常的におむつを使用する高齢者等がいらっしゃる世帯。

▼おむつの種類

- パンツタイプ…歩ける方に下着感覚でぴったりフィット
- テープタイプ…夜など長時間のご使用に安心(マジックテープタイプもあります)
- 尿とりパッド…他の紙おむつに重ねて使用でき経済的
- フラットタイプ…おむつカバーと併用で経済的。尿とりパッドより大きめ

▼申込みから注文まで

- ①さわやか宅配便は会員制で、年度登録費を1,000円としています。年度期間は4/1～3/31としており、1年ごとに更新が必要です。城陽市社会福祉協議会の窓口にて所定の申込書に年度登録費を添えてお申込みください。※なお、申込みには印鑑が必要です。
- ②ご希望の商品を価格表の中から選び、直接取扱い業者へ電話にてご注文ください。
- ③取扱い業者が商品を配達します。※ご注文から配達まで、多少の日数を必要とします。商品の返品については、取扱い業者の責任による不良品以外はできません。ご了承ください。
- ④お支払は商品と引換えでお願いします。その際に領収書を発行します。※在宅介護で満65歳以上の要介護4・5の方は、市の給付事業の対象となります。

▼お問合せ先

城陽市社会福祉協議会
 城陽市寺田東ノ口17 (福祉センター内：城陽市役所西隣)
 TEL：0774-56-0909
 FAX：0774-56-2800



京都府災害ボランティアセンター
 図上訓練に参加しました

被災時にラップが活躍?!

普段は食品を新鮮に保存するために使用するラップですが、被災時には様々な用途で活用できます。

- ①食器が少ない、水もない!
↓食器にラップを巻いて、食後にラップを外すと食器を洗わなくても再度使える。
- ②炊き出しの際におにぎりを握りたいのにビニール手袋がない!
↓手にラップを巻けばビニール手袋の代わりに。
- ③食器を洗いたいのにはスポンジがない!
↓ラップを丸めて洗剤をつけるとスポンジみたいにならなう。
- ④ヒモやロープがない!
↓ラップを長く伸ばしてねじると丈夫なヒモに。さらにそのヒモ3本で三つ編みすればロープに。
- ⑤伝言板がない!
↓ラップはガラスにぴったり張り付き剥がれにくいので、油性ペンでメッセージを書けば水にも強い伝言板に。



防災バッグに入れてみてはいかがでしょうか。



やるべきことリストを相談しながら時系列順に並べる

を招く恐れもあるというお話も挙がりました。どう取り入れていくか、今後検討が必要です。

災害時にスムーズな行動をとれるよう、やるべきことや全体の流れを把握する図上訓練は、有意義なものとなりました。

第37回城陽市社会福祉大会 開催

※共同基金配分金事業

日時：平成28年2月20日(土) 13:00~15:45

場所：文化パーク城陽 ふれあいホール

内容：第1部 表彰式典(13:00~)

第2部 第10回児童・生徒の福祉作文コンクール表彰・発表(13:45~)

第3部 講演(14:15~)

タイトル：**災害**に対応できる**地域力**

～災害支援の現場から見てきたもの～



(上島安裕氏)

講師：上島安裕氏(一般社団法人ピースポート災害ボランティアセンター 理事)

2003年、国際交流NGOピースポートの地球一周の船旅に参加。帰国後から、スタッフとして世界40カ国以上を訪問し、船上のプログラム責任者や途上国支援に携わった。2007年の新潟中越沖地震からは国内被災地への支援活動を担当し、2011年の東日本大震災では現地責任者として宮城県石巻市で、延べ8万人を超えるボランティアの受け入れと活動コーディネートを行った。現在は、発災時の緊急支援を担当するほか、平時の人材育成「災害ボランティア・トレーニング」の講師としても活動中。

申込：不要

参加費：無料

講演参加者には**防災グッズ**進呈

問合先：城陽市社会福祉協議会

TEL：0774-56-0909



城陽市社協へのご寄付 ありがとうございます！

城陽市社会福祉協議会が行う事業のためにご寄付をいただいた方・団体を紹介します。

(平成27年9月1日～平成27年11月30日現在)【敬称略】

○愛媛工務店	寄付金	11,730円
○青谷小学校昭和32年卒業同窓会	寄付金	40,000円
○八久城地区自動車整備協議会	寄付金	30,000円
○関西遊技機商業協同組合	寄付品	車いす1台

ご寄付は、本会の善意銀行等に積み立て、城陽市で行う地域福祉やボランティア活動の推進に活用させていただきます。

また、上記の他に平成27年11月8日に開催しました「城陽福祉ふれあいまつり」で11団体から165,693円相当の金品のご寄付をいただきました。このご寄付は城陽福祉ふれあいまつりの活動に活用させていただきます。

